

《Lesson 3》 いる・ある（疑問文）

「いる・ある」の疑問文は、「be 動詞」を文頭に持ってくれば完成となります。

【「いる・ある」の疑問文：基本の形】

be 動詞 + there + 名詞 + ～?

<例> **Is** there a red pen on the table?

(赤いペンはテーブルの上にはあるのですか)

Are there ten desks in the classroom?

(10 台の机が教室にはあるのですか)

Were there *any male students in your class?

(あなたのクラスに男子生徒は何名かいるのですか)

*疑問文なので、この any は「いくらか」という意味になる。

【作り方】

ステップ 1. There + be 動詞 の**肯定文**を作る。

ステップ 2. be 動詞を**文頭**に持ってきて、最後を**?**にする。

<例 1> 「赤いペンはテーブルの上にはあるのですか」という文の場合。

ステップ 1. There + be 動詞 の**肯定文**を作る。

→ 「赤いペンがテーブルの上にあります」

_____ There is a red pen on the table.

ステップ 2. be 動詞を**文頭**に持ってきて、最後を**?**にする。

_____ **Is** there a red pen on the table?

<例 2> 「10 台の机が教室にはあるのですか」という文の場合。

ステップ 1. There + be 動詞 の**肯定文**を作る。

→ 「10 台の机が教室にあります」

_____ There are ten desks in the classroom.

ステップ 2. be 動詞を**文頭**に持ってきて、最後を**?**にする。

_____ **Are** there ten desks in the classroom?

【疑問文の答え方】

Yes, there be 動詞.

No, there be 動詞 not.

*be 動詞と not の短縮形を使うのが一般的。

<例 1>

Is there a red pen on the table? (赤いペンがテーブルの上にあるのですか)

はい → **Yes, there is.**

いいえ → **No, there isn't. (No, there is not.)**

<例 2>

Are there ten desks in the classroom? (10 台の机が教室にあるのですか)

はい → **Yes, there are.**

いいえ → **No, there aren't. (No, there are not.)**

本ファイルの著作権は、著作者である藤井拓哉に帰属します。本ファイルを利用したことによる直接あるいは間接的な損害に関して、著作者はいっさい責任を負いかねます。利用は利用者個人の責任において行ってください。